

公表

事業所における自己評価総括表(保育所等訪問)

○事業所名	モジラ・アルク			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		～	2025年 8月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10世帯	(回答者数)	9世帯
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日		～	2025年 8月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 8月 1日		～	2025年 8月 12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じた具体的な支援	子どもの特性を踏まえて、家庭や学校で実践しやすい具体的な支援方法を分かりやすく示すようにしている	個別ニーズに応じた教材を整備し、支援方法のバリエーションを増やす
2	家庭・学校・事業所をつなぐ連携体制	先生方との関係性を大切にしながら、先生方の負担が増えない方法を考えるようにしている。また、子ども園や学校等での様子をご家族へも共有することで安心できるように意識している	医療機関を含めた多職種連携の強化し、就学・進級時などの移行期に、関係機関と合同ケース会議を実施して切れ目のない支援につなげる
3	保護者への寄り添いと信頼感	子ども達への心配や期待に対して、アセスメントを行いながら求められていることを丁寧に整理している。 訪問後は様子を面談やメール、電話等それぞれのご家庭の状況に合わせてお伝えしている。	児発や放デイと合わせて、保護者同士の交流が図れる機会や学びあえる機会を作っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援ツールや教材の不足	訪問支援の実績数がまだ少ないため、教材整備がまだ十分に進んでいない	個別ニーズに応じた教材を整備し、実際の支援の幅を広げる。
2	全職員への情報共有不足	基本的に職員が個別で動く体制のため、チームとしての関わりやケース会議の場が自然に生まれにくい	訪問支援の特性を踏まえ、訪問職員の経験や支援内容をチーム全体で共有できる定例の場をミーティング等で儲けるようにする
3	関係機関連携（特に医療機関）不足	医療機関との情報交換の仕組みが未整備で、学校・園中心の連携に偏っている	学校やこども園等との連携はこれまで同様に維持しながら、子どもの状況によっては、医療機関(リハビリ等)との情報共有を行えるように働きかけを行っていく

公表

保護者からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問)

事業所名 モジラ・アルク

公表日 2025年 8月 28日

利用児童数 12名

回収数 9世帯

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	2	1	3		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8			1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	1				
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	7	2				
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1			不登校支援での毎日の声掛け、送り出しの希望があるが、支給日数が少ないので増やしてほしい	登校状況を見ながら、必要な支援の整理を行った上で申請をおこなっていく
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8	1				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7	1		1	外部での研修についても情報案内してもらえる	
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			1		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1	事業所での対応は適切だが、法律に不満がある。	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9				学校、保護者、事業所の三者で共有がされている	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9				学校、保護者、事業所の三者で共有がされている	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7		1	1		訪問先の様子は、他のお子様の状況もあるためSNSでの発信はしていない
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7			2		訪問先の情報についても今後確認していきたい
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				仕事で対応できない時に訪問先と直接対応していただけることはとても助かっている	先生方との連携を今後も図りながら対応していく
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9					
	28	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問)

事業所名		公表日				
モジラ・アルク		2025年 8月 28日				
		利用児童数			回収数 6ヶ所	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			個別の対応の仕方を教わりこちらでも実践することができています。ありがとうございます。	今後も訪問先の環境でできることを一緒に考えながら、サポートしていく
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6				
5	事業所からの支援に満足していますか。	6			貴園に通うようになり、言葉が増えたり気持ちが増えているような気がします。ありがとうございます。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・色々悩んでいる時に、丁寧に対応してくださり、本当に嬉しかったです。職員の方皆親切で、今回も運動会では本当に協力してくださり感謝しています。また、発表会などで相談したいと思いますので、よろしくお願いいたします。 ・短時間の間に特性を分かりやすく説明していただき、集団生活の中で具体的な支援が分かりました。他にも現段階での運動能力や認知や社会性についての基準を知ることができました。教えて頂いた支援の成果も今後お話ししたらを思います。 ・学校での様子から本人が頑張っている様子を知って頂けて良かったです。放デイでの様子を聞き、学校以外でも頑張っている面を教えてくださいました。いろいろなサポートがあることで、本人も落ち着いて過ごすことができています。 ・子供にも保護者にも学校側にも寄り添った助言や説明にいつも助けられています。これからも協力してよりよい支援に繋げていけるようよろしくお願いいたします。				子ども達が所属する集団の中で、子どもたち自身、先生方が共に安心して過ごせる環境づくりと一緒に取り組めるように尽力していきます。 また、お互いに学びあえる関係性を構築しながら、子ども達をサポートしてく立場同志で情報の共有を図りながら、関わり方の工夫を考えていきたいです。		

公表

事業所における自己評価結果(保育所等訪問)

事業所名		モジラ・アルク(保育所等訪問)					公表日		2025年 8月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点				
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1	1	支援ツールがまだ限定的である	個別に応じた支援グッズをそろえていく必要がある				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2							
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1	訪問職員では把握できているが、全職員との共有が薄い部分がある	全職員との共有を図っていく				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	今回が初めての評価になる。	今回の評価をもとに、検討していきたい				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2							
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	第3者評価は行っていない					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内で研修計画がされている。また、外部研修についても情報共有を行い、研修に参加できるようにしている					
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2							
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2							
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2							
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2							
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2							
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2							
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2							
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2							
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1	情報共有は行っているが、訪問日に実施できないこともある	朝礼や夕方など、日ごとに状況を見ながら時間の有効活用を行っていく				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問開始時に訪問先を調整を行っている					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2							

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1	子ども園や学校とは連携が十分だが、医療関係とは不十分である	子ども達の状況に合わせて、必要な医療機関との連携も図っていく
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1	法人内研修を中心に研修体制は整えている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	保育所等訪問が始まったばかりなので、これから検討していきたい	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2	父母の会の発足はない	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	児発や放デイに関しては通信やSNSの発信は行っているが、保育所等訪問に関する発信はしていない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			